

今年も暑い夏がやってくる!

近年、地球温暖化の影響もあり、今年の夏も厳しい暑さが見込まれています。熱中症予防のために水分補給はとても大事ですので、室内でもこまめに水分を取るようにしましょう。エアコンのフィルターなどを適宜掃除しておく、冷房の効きもよくなり、電気代も節約できます。季節ごとの運転前はもちろん、シーズン中でも2～3週間に1度は掃除しましょう。

また、寝苦しい夜などは冷房をつけたままにせず、窓を開けて夜風を入れることもあると思います。

ただ小さな子どもがいると転落などの危険も伴いますので注意が必要です。

本号では、そんな夏に多い注意すべき点などの事例と対策を紹介します。



「おかしいな」「困ったな」と感じたらひとりで悩まず消費生活センターにご相談ください

府中市消費生活センター

相談専用 ☎042-360-3316

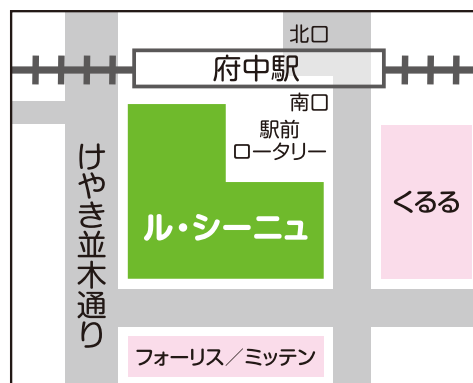
相談時間 月～金曜日(祝日・年末年始・休館日は除く)
午前10時～正午／午後1時～4時

相談場所 府中市宮町1-100 ル・シーニュ6階

対象者 市民、市内在勤・在学の方

相談方法 電話、または来所

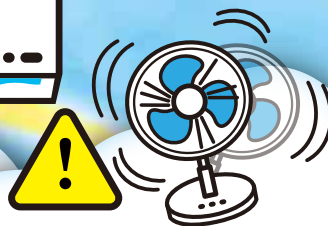
※できるだけ来所によらず、電話相談をご利用くださいますようお願いいたします。



事例 1



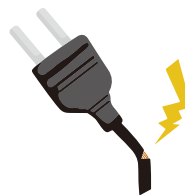
夏になりエアコンを毎日つけているが、今一つ効き目が悪いと思っていたら室内機から水漏れがし始めた。これは故障でしょうか。



扇風機を回したら、突然羽根(はね)の部分がぐらぐらとし始めて慌てて止めたが、このまま使っていても大丈夫でしょうか。

解説

- ◆ 皆さんも夏のエアコン使用前には、フィルターの掃除をすることなどを気にしますが、一度エアコンを使用しだすと、1日中つけたままに置いて、休む暇なく稼働していませんか。そうするとフィルターにほこりがたまり、目詰まりして効きが悪くなったり、エアコンのモーターに負担がかかり、最悪の場合は発火して火災を引き起こすことがあります。
- ◆ ^{はね}羽根など本体部分がぐらつくなど不具合が出たら危険です。また、扇風機をしまうときにコンパクトにするために、コンセントを短く折りたたんだり丸めたりしていませんか。コンパクトにしようとして無理にコンセントをひねったり、短く折りたたんだりすることでコンセントが断線してしまい、そこからショートし発火することもあります。



対策

- エアコンのフィルター掃除の目安は、シーズン中でも2週間が推奨されています。少なくとも2～3週間ごとにフィルターのほこりを掃除機で吸い取り、その後水洗いをしてよく乾かして使用しましょう。よく乾かさないうちに本体へ取り付けて使用するとカビの原因となりますので、気をつけましょう。フィルターの掃除をすることで、効きもよくなり電気代も節約でき一石二鳥です。
- 電源コードの改造はもとより、接続部分のねじれやたこ足配線などは、接触不良や異常な発熱の原因となり、その結果として発火事故などが報告されています。使用する際はそのようなことがないように十分に点検をして、コードが切れていたり、焦げ臭いにおいがしたりするなど、少しでも異常があった場合はすぐに使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店やメーカーに相談しましょう。
- 扇風機の場合も、羽根(はね)がぐらぐらする、異常な音や振動がするなど少しでもいつもと違うようなことがあったらすぐに使用を中止して販売店などに相談しましょう。特に電源コードは折りたたんでしまうことが多いため、断線したり破損したりすることがありますので、使用する前にはよく点検するようにしましょう。

事例 2

車で帰省する際に、車内で飲んでいたペットボトルをそのまま置いて、途中で買い物に出かけたところ、戻ってきたら暑さで容器がパンパンに膨らんでいた。慌てて中の空気を逃がすため開けようとしたら、ふたが勢いよく飛んでしまい子どもの顔にあたりけがをしてしまった。



飲み残したペットボトルをそのままテーブルの上に置いておき、翌日に飲んだところ、急に体調が悪くなり食中毒を起こしてしまった。

解説

- ◆夏の車中は温度が 50 ～ 60 度以上になる場合もあります。炎天下の車内にペットボトルを放置すると、未開栓のものでも容器が溶けてしまったり、破損したりするなど内圧が上昇して危険です。特に炭酸飲料は、開けようとした瞬間にふたが飛んだり、少しの振動で容器が破裂したりすることもありますので気をつけなければなりません。また、水の入ったペットボトルは、レンズ効果などにより車内で出火してシートなどに燃え移り、火災になる場合もあります。
- ◆口をつけて飲んだペットボトルの飲み残しは、わずか数時間で口内の雑菌がペットボトル内で繁殖し、急増する実験結果もあるようです。そのため食中毒の原因になり非常に危険です。

対策

- 炎天下で車を離れる場合、ペットボトルなどはそのまま放置せず持って行くようにしましょう。どうしても置いておく場合でも、クーラーボックスや保冷剤を入れたバッグなどで保管し、直射日光があたらないようにするなど注意しましょう。万が一忘れていたことに気がついたら、慌てて触ったりせずに、一度冷ましてから廃棄するようにしましょう。
 - ペットボトル以外にも、制汗剤や虫よけスプレー缶なども同様に、炎天下の車内に放置すると破裂したり、火災を引き起こしたりしますので、放置しないように気をつけましょう。
 - ペットボトルから直接飲んだ場合は、その日のうちに飲み切りましょう。万が一飲み残してしまった場合は、思い切って処分しましょう。コップなどを使用して飲んだ場合も、飲み残しをそのまま放置することはせず、必ず冷蔵庫に保管して1～2日で飲み切るようにしましょう。
- せっかくの帰省や楽しみにしていたレジャーで事故にあわないためにも、ペットボトルの取り扱いには十分に気をつけましょう。



～子どもの事故に注意!!～

夏の寝苦しい夜に、エアコンをつけたままにすると風邪をひいたり体調を崩したりするから、夜涼しくなってから窓を開けていませんか。

そんな時に、夜中に目を覚ました子どもが、ベッドや近くの家具を伝ってベランダに出でしまい、手すりをのぞき込んだ拍子に下へ転落してしまう事故が実際に起こっています。

また、お風呂で保護者が洗髪をしているなどちょっと目を離したすきに、浴槽に転落してしまうことや、お湯を少なめにしているから大丈夫と安心していたら、その中で遊んでいた子どもが足を滑らせてうつぶせになっておぼれていたという事例もあります。

このような悲しい事故を起こさないためにも、日頃からの注意が必要です。

そこで、次のようなことに注意しましょう。

- ◆窓やベランダの手すり付近には、足場になるようなものは置かないようにしましょう。近くになくても、4～5歳ぐらいになると、いすなど足場になるものを運んできて乗り越えることができるので、危険性が高まります。窓やベランダの出入り口の子ども手が届かないような場所に、補助錠をつけるようにしましょう。



- ◆ベランダやその近くの部屋に短時間でも小さな子どもだけで遊ばせないようにしましょう。
- ◆たとえ寝ているからと思っても、小さな子どもを家に残したまま外出は絶対にしないようにしましょう。



- ◆日頃から、子どもに転落の危険性を教えましょう。
- ◆風呂場や簡易プールなどで水が少ししかないと思っても絶対に目を離さないようにしましょう。人は10センチの深さでもおぼれることがあります。特に乳幼児は鼻や口が小さいため、わずか1センチの深さでも顔が水につかってしまうと自力で起き上がることができず、窒息してしまうことがあるので気をつけましょう。

消費生活センター休館日のご案内

2026年8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2026年9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2026年10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2026年11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						



■は休館日となります。

編集・発行

府中市生活環境部産業観光課
消費生活センター

〒183-0023 府中市宮町1-100

TEL 042-360-3316

FAX 042-351-4605

Eメール shouhi@city.fuchu.tokyo.jp